

令和4年12月2日招集の定例県議会  
における追加議案の知事提案説明要旨

ただいま、御提案申し上げました議案につきまして、御説明いたします。

去る12月2日に、国において「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を受けた補正予算が成立したところです。

この国の補正予算の一部に迅速に対応した今回の補正予算案は、妊娠期から出産・子育てまでの切れ目のない支援や子供の安心・安全を確保するための対策に要する経費に加え、観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援など当面对応すべき事業に係る経費を計上するものでございます。

以下、補正予算の主なものにつきまして、御説明いたします。

まず、妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援についてです。

妊婦や子育て家庭の孤立感、不安感の解消を図るため、伴走型の相談支援の拡充と合わせて、妊娠や出産の届出をした妊婦等に対し出産育児関連用品の購入費等への経済的支援を一体的に行う市町村に補助します。

次に、子供の安心・安全対策の強化についてです。

送迎時の子供の安全確保を図るため、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、障害児通所支援事業所等の設置者に対して、送迎用バスの安全装置や登園管理システムの整備などに要する経費に補助等をするものでございます。

次に、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への支援についてです。

高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所等の物価高騰による影響の激変を緩和するため、緊急的措置として食材料費の高騰分に対して補助します。

また、国の全国旅行支援を引き続き活用して県内観光の需要喚起を図るため、本県を目的地とする旅行に対して、旅行代金の最大20%の割引や、地域観光クーポンとして最大2,000円分を配布し、観光関連事業者を支援します。

次に、埼玉高速鉄道線延伸に向けた取組の推進についてです。

埼玉高速鉄道線延伸に向けた鉄道事業者への事業実施要請を令和5年度中に円滑に実施するため、債務負担行為を設定し、さいたま市と共同で行う建設費等に関する調査の前倒しを図るものでございます。

この結果、一般会計の補正予算額は129億1,642万8千円となり、既定予算との累計額は、2兆4,330億3,883万円となります。

以上で私の説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、御議決を賜りますようお願い申し上げます。